

1組 主体的な学び 2組 対話的な学び 3組 主体的な学び

対象：第1学年1組 30名
第1学年2組 30名
第1学年3組 30名

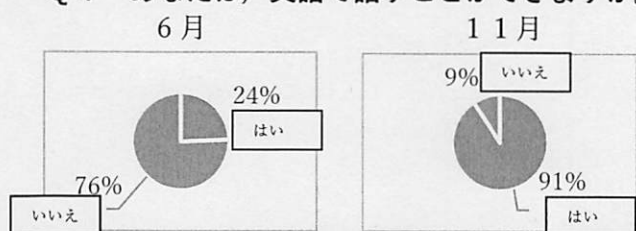
授業者：1組
2組
3組

1 単元名

「夢の水族館を作ろう。 I like dolphins.」

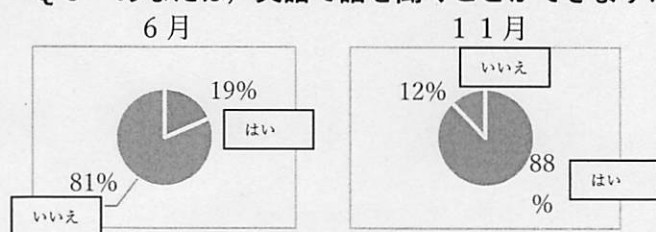
2 児童観

Q4 あなたは、英語で話すことができますか。



6月と11月の結果を比較すると、外国語活動を通して、特に「話すこと」「聞くこと」ができる、という項目の数字が大きく上昇した。

Q6 あなたは、英語で話を聞くことができますか。



本学年の児童は、英語に対する関心・意欲は6月のアンケート実施時から9割を超えていた。9月に行った外国語活動の授業でも、とても積極的に学習する姿が見られた。6月と11月のアンケート結果を比較すると、英語で「話すこと」「聞くこと」ができるようになったという児童が学習前と後とは、大きく増加したことがわかった。

このように、1年生のうちから楽しみながら英語に触れていくことで、あいさつの仕方や、英語での語彙や表現を増やしていき、自信をつけていくことができた。今後も、楽しみながら外国語活動を行うことで、英語に対する関心・意欲を高め、次の学年の学習へと繋がるようにしたい。

3 研究主題にせまるために

(1) 主体的な学び

英語を使うことに必然性をもたせることにまず重点をおいた。始めに、友達に英語を使って発表をするというゴールイメージをもたせる。そのために、英語で魚釣りゲームを行って、発表の準備をしていく必要があることを伝え、児童の英語に対する興味・関心を惹きつける。ゴールイメージをもって活動することで、より意欲的に外国語活動を目指していく。

(2) 対話的な学び

興味・関心を惹きつけることにより、語彙を増やしたいという欲求が高まると考える。さらに、語彙が増えたらそれを友達に伝えてみたいという興味・関心に繋がると考える。魚釣りゲームの活動や発表練習を通して友達に英語で伝えること、さらに、友達とは違った自分だけの発表をすることを目指していく。

(3) 深い学び

教師から英語を教わる。英語を使って友達と簡単な会話をする。簡単な英語を使ってみんなに発表をする。個の学びが集団に広がっていく喜びを通して、もっと学びたいという意欲に繋げる。

4 単元の指導目標

主体的・対話的な活動を通して、外国語に親しみ進んで学習に取り組む。(学びに向かう力・人間性等)

5 言語材料

(1) 表現(児童の発話)

・ I like ~. ・ Here you are. ・ Thank you. ・ Good job. ・ It's (colors).

(2) 語彙(児童が使う語彙)

・ aquarium

・ 海の生き物

(dolphin, ray, sea otter, squid, octopus, shark, seal, turtle, jellyfish, starfish, crab, shrimp, penguin, fish, whale)

6 単元の評価規準

主体的に学習に取り組む態度	① 学習に興味をもち、主体的に学びに向かうことができる。 ② 学習に見通しをもち、計画的に学習することができる。
---------------	---

7 単元指導計画(全4時間)

時	目標(◆)と主な活動(○) 主題にせまるための手立て(◎)	評価
(図工)	◆絵の具の水の加減による感じの違いに気付きながら表す。	
1	◆単元の見通しをもち、海の生き物の言い方について知る。 ○単元の学習の流れを知る。 ○海の生き物の単語練習をする。 ○クイズをする。 ○「I like ~」を使って、好きな海の生き物の言い方を練習する。 ○ペアで好きな海の生き物を言い合う。 ◎3-(1)	主-①
2 1組	◆好きな海の生き物をいう言い方を知り、海の生き物を集める。 ○既習の単語練習をする。 ○魚釣りゲームする。 ◎3-(1)	主-②
(図工)	◆自分の好きな海の生き物に色を塗り、水族館を完成させる。	
3 2組	◆発表に向けて、グループで練習する。 ○好きな色と好きな海の生き物の言い方を練習する。 ○マッチングカードゲームをする。 ○次時の発表に向けて、グループで発表の練習をする。 ◎3-(2)	主-②
4 3組	◆夢の水族館を発表する。 ○Talk to 3 をする。 ○グループで発表の練習をする。 ○発表する。 ◎3-(1)	主-①

8 本時（全4時間の2時間目）

(1) 本時の目標

好きな海の生き物をいう表現を使って、海の生き物を集める。

(2) 本時の展開

1 組

主体的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 3分	○あいさつをする。 ○英語で質問する。(天気, 曜日, 色) △英語で答えられない。	☆掲示物を活用し, 繰り返し練習する。	
Warming up 2分	○Hello song を歌う。	・身振り手振りを付けて元気よく歌えるように声掛けをする。	CD
Song 3分	○Baby shark を歌う。		CD
Today's goal 2分	○BEST の確認をする。 ○本時のめあてを確認する。	・BEST (Big & Clear voice, Eye contact, Smile, Try)を確認する。	掲示物
えいごをつかって, すきなうみの生きものをあつめよう。			
Review 14分	○教師の後に続けて英語を言う。 ○児童のみで英語を言う。	・I like ~. (海の生き物の名前) . ・Here you are. ・Thank you. ・繰り返し発音させ, 繰り返し聞かせて定着させる。	掲示物
Activity 15分	○魚釣りゲームをする。	① 準備をする。 ② A の人が好きな海の生き物を B の人に伝える。 B の人が釣りをし取り, A に渡す。 A : 「I like ~. (海の生き物の名前) .」 B : 「Here you are.」 A : 「Thank you.」 ③ 時間が来たら交代をする。 △言い方がわからない。	魚釣りゲームに必要な道具 主-② 行動観察
Reflection 5分	○本時のリフレクションを行う。	・前半が終わったらリフレクションを行う。リフレクションを共有し, 後半に生かすよう声をかける。 ・修正点を洗い出し調整したり, 良かったりしたことを価値付けたりする。 ・HRT から修正点を伝える。	リフレクションカード
Closing 1分	○Good bye song を歌う。 ○あいさつをする。	☆机間指導をしながら, 苦手な児童と一緒に言ったり, 近くの児童に教えてもらったりするようにする。	CD

8 本時（全4時間の3時間目）

（1）本時の目標

発表に向けて、練習する。

（2）本時の展開

2組

対話的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする。 ○英語で質問する。(天気, 曜日, 色) △英語で答えられない。	☆掲示物を活用し, 繰り返し練習する。	
Warming up 2分	○Hello song を歌う。	・身振り手振りを付けて元気よく歌えるように声掛けをする。	CD
Song 3分	○Baby shark を歌う。		CD
Today's goal 2分	○BEST の確認をする。 ○本時のめあてを確認する。	・ BEST (Big& Clear voice, Eye contact, Smile, Try) を確認する。 ・意識しやすいように黒板に掲示する。	掲示物
すきなうみの生きものをはっぴょうするれんしゅうをしよう			
Review 5分	○教師の後に続けて英語を言う。 ○児童のみで英語を言う。	・ I like ～. (海の生き物の名前) . ・ Here you are. ・ Thank you. ・繰り返し発音させ, 繰り返し聞かせて定着させる。	掲示物
Practice 1 7分	○好きな海の生き物と色の言い方を確認する。 △色の言い方がわからない。	☆掲示物を確認する。	
Activity 7分	○マッチングカードゲームをする。 △言い方がわからない。 ○使ったカードを画用紙に貼る。	☆机間指導をしながら, 苦手な児童と一緒に言ったり, 近くの児童に教えてもらったりするようにする。	
Practice2 11分	○次時の発表に向けて班で練習する。 〈発表練習の仕方〉 ○班で発表の仕方を工夫し, 練習する。 【Welcome(to our aquarium!!)】 A: I like jellyfish. It's pink. B: I like ～. C: I like ～. D: I like ～. Thank you. 【 】の部分を児童と考える。 △英語で話せない	☆児童と一緒に言う。	主-① 行動観察
Reflection 5分	○本時のリフレクションを行う。	・リフレクションカードの記入事項を確認する。 ・数名の児童に感想を発表させる。	リフレクションカード
Closing 1分	○Good bye song を歌う。 ○あいさつをする。		CD

8 本時（全4時間の4時間目）

（1）本時の目標

夢の水族館を発表する。

（2）本時の展開

3組

主体的な学び

展開・時間	児童の活動 △児童のつまずき	指導者（T）の活動と使用英語例 ☆児童のつまずきに対する教師の支援	準備物 評価
Greeting 2分	○あいさつをする。 ○英語で質問する。（天気、曜日、色）		
Warming up 1分	○Hello song を歌う。	・身振り手振りを付けて元気よく歌えるように声掛けをする。	CD
Song 2分	○Baby shark を歌う。		CD
Today's goal 2分	○BEST の確認をする。 ○本時のめあてを確認する。	・BEST (Big & Clear voice, Eye contact, Smile, Try) を確認する。 ・意識しやすいように黒板に掲示する。	掲示物
ゆめの水ぞくかんをはっぴょうしよう。			
Review 5分	○教師の後に続けて英語を言う。 ○児童のみで英語を言う。	・I like ～.（海の生き物と色の名前） ・Here you are. ・Thank you. ☆繰り返し発音させ、繰り返し聞かせて定着させる。	掲示物
Activity 1 7分	○Talk to3 をする。 △英語で話せない	・3 人の人とは必ず話すように声をかける。 ☆苦手な児童とは一緒に言うようにする。	
Presentation 20分	○自分の夢の水族館を発表する。 ①グループごとに前に出て、発表する。 【Hello. Welcome to our aquarium!】 A: I like jellyfish. It's pink. B: I like sharks. C: I like fish. It's green and yellow. D: Thank you. ②発表が終わったら、黒板に貼る。 △英語で話せない	☆苦手な児童とは一緒に言うようにする。 ・発表が終わったら、全員でリアクションをする。	ホワイトボード 主-① 発表観察
Reflection 2 5分	○本時のリフレクションを行う。	・リフレクションカードの記入事項を確認する。 ・数名の児童に感想を発表させる。	リフレクションカード
Closing 1分	○Good bye song を歌う。 ○あいさつをする。		CD